

平成27年度 第1回鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会会議録

- 1 日 時 平成27年8月20日（木） 午後1時30分から2時10分まで
- 2 場 所 総合福祉保健センター4階 会議室
- 3 出席委員 中井 愷雄委員・尾崎 隆委員・福島 節子委員・小倉 一哲委員・和田 洋子委員・今市 由美子委員・小島 邦夫（鎌ヶ谷市教育委員会学校教育課長）委員
- 4 関係者 石原 徳子習志野健康福祉センター地域保健課長
- 5 欠席委員 石川 広己委員・江口 弘久委員・小笠原 直樹（鎌ヶ谷市こども支援課長）委員
- 6 事務局 健康増進課菅井課長・西山主幹・山田副主幹・本間副主幹・山崎母子保健係長・森谷主査・堀江主任栄養士・鈴木栄養士
- 7 傍聴者 なし
- 8 議題等 （1）議題  
「第2次鎌ヶ谷市食育推進計画」（案）について
- 9 配布資料 ・「第2次鎌ヶ谷市食育推進計画」（案）  
・「第2次鎌ヶ谷市食育推進計画（案）」についての概要

10 会議の概要

会長挨拶

会議録署名人の選任 小倉委員及び小島委員が選任される。

鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会設置要綱第6条の規定により、会長が議長となり議事を処理する。

（会長）議題「第2次鎌ヶ谷市食育推進計画」（案）について事務局から説明をお願いします。

（事務局）（資料に沿って説明）

（会長）ただ今の第2次鎌ヶ谷市食育推進計画（案）につきまして、ご意見、ご質問等ござ

いますか。

(委員) 私たち食生活改善推進員は、「食育推進計画」ができる前から、子どもから大人までの様々な年代の方々に食に関することを伝えてきました。計画ができてからは、ライフステージごとに伝えるということ意識し、子どもたちには「早寝早起き朝ごはん」、大人には「生活習慣病の予防として、家庭訪問で減塩普及啓発をする」など、テーマをもって食育を進めてきました。第2次計画では、ライフステージごとにどんなことを目指すのか、そのためには一人ひとりがどんなことに取り組んだら良いのかがわかるようになっているので、その取り組みを支援できるように、地域に根づいた活動を進めていきたいと思えます。

(会長) 「第2次食育推進計画」の取組みについて提案をしていただき、ありがとうございました。

(委員) 計画(案)の26ページ、「食の三原色」という言葉が一般には分かりにくいので、分かりやすい表現に、栄養士としては3つの食品群がよいかと思えます。統一して注釈をつけて説明するとより分かりやすいと思えます。

もう一点、24ページの乳幼児期について、0～2歳でも保育園に預ける方が増えているので、乳幼児期のページに保育園との関わりとして、離乳食指導や食事指導について書いてあるとよい感じがします。

(会長) ありがとうございました。事務局いかがでしょうか。

(事務局) 1点目は、正式名称は「三色食品群」なので、すべて「三色食品群」の記載に統一し、一番初めのページに注釈をつけ、栄養素の働きで、黄色・赤・緑の3つの食品グループに分けたものという説明をつけ加えます。2点目の保育園との関わりは、給食指導をもう少し分かりやすい表現に検討します。

(会長) ありがとうございました。ほかに何かございますか。

(委員) 36ページの17番ですが、「月齢・年齢に応じた食具の扱いについて周知する」は、食具という言葉が日常あまり使わないので、具体的に食具の例を挙げて教えていただけたら分かりやすいと思えます。

(会長) 事務局

(事務局) 食具という表現については、食事をするための道具ということで、箸やスプーン等を指しています。ここでは注釈を入れ、具体的には箸やスプーン等を指すということをつけ加えさせていただきます。

(会長) よろしくお願ひします。ほかに何かご意見ござひますか。

(委員) 成人が高校生以上となつていますが、高校生以上の15歳から100歳以上までを一つの括りにしてよいか気になりました。

概要にも、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画との整合性ということも記載されているので、もう少し何か記載があればよいと思ひました。

(会長) 事務局いかがでしょうか。

(事務局) 高校生以上の成人を、高校生から青壮年期と高齢期に分けて、伝わりやすい表現にします。

(会長) よろしくお願ひします。どなたかご意見、ご質問等ござひますか。

(委員) 成人のところは、いきいきプラン・健康かまがや21の健康増進計画と抱合せて総合的に見ていくと網羅できると思ひます。

もう一点は、今、保育所や小中学校・高校それぞれの施設において食育計画を作成し、年間で活動計画を立てて取り組んでいます、そのそれぞれの計画内容と第2次鎌ヶ谷市食育推進計画(案)にある基本目標が、市の中で整合性がとれているのでしょうか。また、ここに書いてあることが各保育園や小中学校等の各施設で取り組んでいただけると理解しているのでしょうか。

(会長) 事務局お願ひします。

(事務局) 計画(案)の93ページにある、鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会食育推進部会として関係者が集まり、ライフステージ毎に自分たちの分野ではどうということが取り組めるかという意見を出していただきました。そして、44ページから、現状と2次計画で取り組んでいきたいことを出していただいたので、同じ方向を向いてこの計画に基づいて進んでいけると思っています。

82ページの数値目標は、掲載はしていませんが数値を取っているものがありますので、いきいきプラン・健康かまがや21の数値目標も追加し、食育計画だけを見ても子どもから大人まで分かるようにしていきます。

(会長) よろしくお願ひします。ほかに意見等ござひますか。

(委員) 質問ですが、82ページの数値目標にある、小学校5年生の「夕食を家族の大人と週に5日以上食べる子どもの割合」が、平成22年度は90.6%、平成26年度では

86. 0%と、数値が少なくなった要因がわかるでしょうか。

(事務局) 食べなくなった理由として調査はしていないのですが、夕食と限定してしまっていることもあり、今のところ現状の把握はできていません。

(委員) 例えば塾に通っているなどの理由でしょうか。

(事務局) 各小中学校の先生方からの話の中で、そうなのかなというのがありますが、数値としてこうですというものは把握できていません。国や県では夕食と限定はしておらず、朝・昼・夜のどこかであり、食べなくなった理由も聞いてはいないので、今のところ理由は分かっていません。

(会長) よろしいですか。

(委員) はい。大丈夫です。

(会長) それでは、「第2次食育推進計画」(案)について健康づくり推進協議会として審議した結果、承認とすることよろしいですか。

(委員) はい。

(会長) それでは、今後のスケジュールに沿って計画(案)の策定を進めていただきます。ほかにご意見が無いようでしたら、これをもちまして、議事終了といたします。

閉 会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成27年8月20日

署名人 小倉 一徹

署名人 小島 邦夫